

# 「学校栄養職員・大学生等を対象とした農業体験と意見交換会」アンケート結果

- ・日 時:平成25年8月21日(水)10:00～16:00
- ・場 所:岡山県農林業実践学習の里「体験学習農園」
- ・参加者:30人
- ・回答者:27人 (回答率90%)

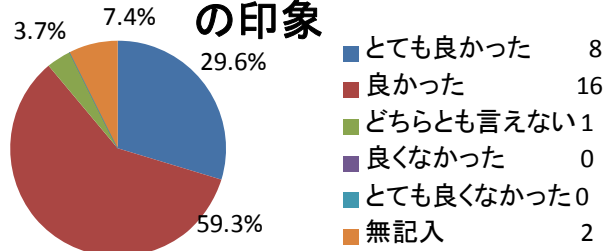
## 出席者(回答者)概要

性別	男性	1
	女性	26

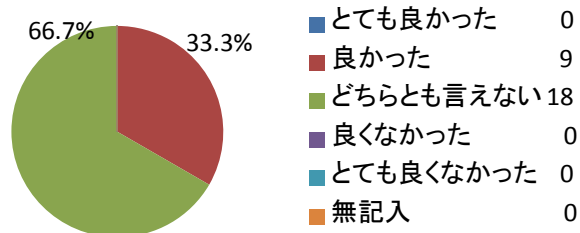
職業	学校栄養職員	8
	大学生	16
	その他	3

年齢	10代	0
	20代	16
	30代	3
	50代	6
	60代	2

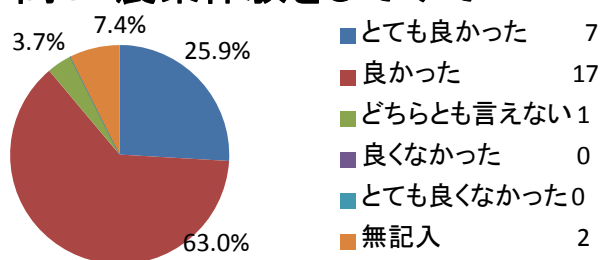
## 問1 全プログラムを通しての印象



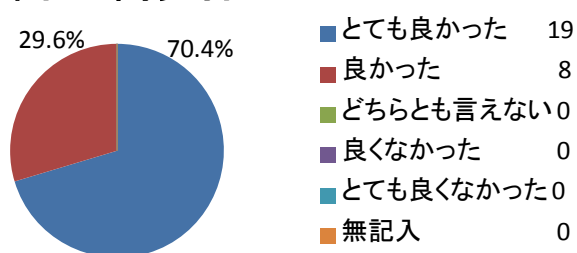
## 問2 時間の長さ



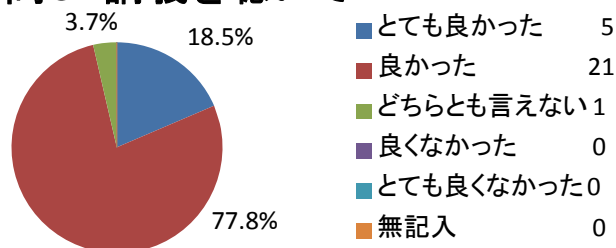
## 問3 農業体験をしてみて



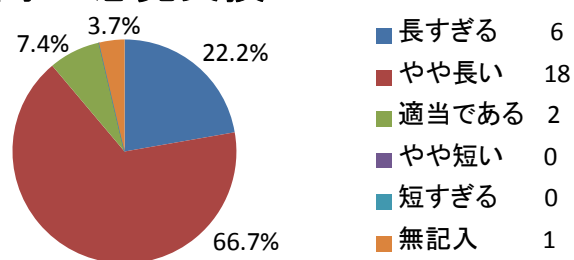
## 問4 蕎麦打ち



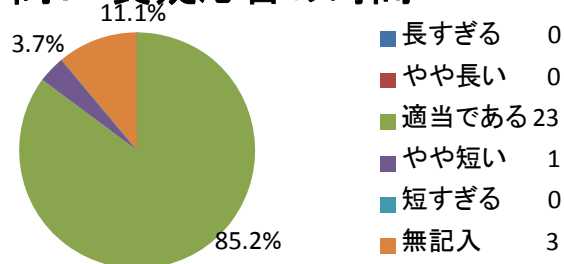
## 問5 講義を聴いて



## 問6 意見交換について



## 問7 質疑応答の時間



## ▽本イベント等の感想

### 農業体験

- ・土を耕す道具や、いろんな機械を使わせてもらえ、エンジンをかけるだけでもコツが必要で難しかった。
- ・とても暑い中でつらかったですが、農業経営や農家の方の大変さを知ることができ食に対するありがたみを、より一層深めることができました。
- ・収穫する喜び、自分がいつも食べている野菜などがたくさんの人々との関わり、子供たちには作物をつくることの苦労を教えると共に感謝して残さず食べるように心がけたい。
- ・貴重な体験となりましたが、白菜や大根の収穫もできるといいなと感じました。

### 蕎麦打ち体験

- ・はじめてそば打ち道具を利用させてもらい感謝、とても楽しく、そばが大好きなのでとてもうれしい経験だった。
- ・先生の打ったそばと違いが明確にわかりましたが、自分で打ったのもおいしかったです。
- ・そばへの熱い思いを持った先生の経験やこれまでの話にはとても関心を抱け、子供たちへより熱意を持って伝えたい。
- ・予備知識はバスの中で調べてきたことを、発表したりしながら来ましたので、全てが興味深かったです。
- ・京都より取り寄せた「にしん」、ハケ岳産のひき立てそば、そば汁がおいしかった。

### 体験全体

- ・普段できない体験ができ良い経験となり、今後にぜひ活かしていきたいと思います。
- ・スライドで親子給食で伝えたり、児童に対しての食育指導に活かそうと思った。
- ・一日に農業体験とそば打ち体験をしたので、少し疲れましたが、大学では学べないような事を体験できてよかった。
- ・見るだけではわからないことが、実際に体験して発見できることがあった。
- ・五感を活かして学び取ることも、とても大切だということを感じました。
- ・準備、片付け等、農政局の担当の方のご苦労を思うと感謝します。

## ▽本イベントを機会に、体験や苦労をどのように活用推進しますか。

- ・教科書だけではなく、実体験で学んだ知識を活かし、野菜の成長など具体的に学校や家庭菜園で自分の子どもたち等に体験をさせ、収穫の喜びや旬のものなど、今日の感動を伝えたいと思った。
- ・栄養教諭になった際には給食を通し、地産地消や農家の人の苦労を伝えることで、児童や生徒にも「感謝の心」を伝えることができると感じました。
- ・地産地消のため、スーパーなどで地元の農産物を買ひ、自分では家庭菜園をしたい。
- ・野菜を普段何気なく食べているが、農家で数ヶ月間による栽培をしていることがわかり、好き嫌いせず残さず食べることが大切だと伝えたい。
- ・作物が私たちの口に入るまでには、多くの人に関わっており、苦労もたくさんあるおかげで私たちは安心して食事をするのができるのだと身をもって感じました。
- ・遺伝子組換え農産物は、いろいろな意見をきいて考えていきたいと思いました。
- ・学校に生産者が来て体験等を話して頂くことで、推進ができれば良いと思います。
- ・トマト収穫の喜びや旬のものなど、今日の感動を伝えたい。小学校2年生は大根を育て、おでんを食べる計画があり感動を体験させるために指導助言していこうと思っている。
- ・食べ物を残さない、給食の残菜が非常に多いので、体験により食べ物を大切にする教育が必要。

▽「農」と「食」を結び付ける食育活動を促すために、どの様な取り組みが効果的だと思うか？

- ・食につなげるには種まきから栽培、収穫までの体験や、畑いじりや釣りなど自らが育てたり、加工したり料理をすることが、食に対しての意識が向上し効果的だと思う。
- ・ボランティアなどの募集、小学校の学級活動や生活科の授業で、実際に自分たちの手で作ったものを食べることで、食育につながるのではないかと感じた。
- ・座学だけだと、一時点だけの学習にとどまるので、実体験することで大変さと喜びを感じ、学習することで食の大切さが身につくと思います。
- ・栄養指導等を通し、授業で農業体験や学校給食に地産地消を取り入れ、地域の野菜などを給食で使用することで食と農の大切さを学ぶことが重要。
- ・グループや個人での体験が必要で、子どもたちはもちろん、親、教職員ともに実践できる農の体験学習が効果的だと思います。
- ・テレビ放送、実践体験「2mのごぼうの葉」を見せる等、感動をあたえる実践がないと、子供たちは普段の生活と「農」はかなり遠いものになっている。
- ・第二次食育推進基本計画のコンセプト「周知」から「実践」へもう少し食育のできる時間の確保・保障が必要。
- ・岡山市では各校に栄養職員（正規調理員も）が配置されているので、十分に人材を活用してほしい。
- ・「大変、苦労、暑い、えらい」と野外作業で体を動かしたことがないだけで、生産、管理、収穫、食に至る全体作業が無いため、本当の苦労は伝えられるものがない。

▽本イベントに、関して、御意見、御要望について？

- ・他の学部の方々と栄養士の先生と話す機会があり、違う視点から意見が聞け勉強になったが、「フリートーク」時間があればよかったです。
- ・自給率39%という現実、子も親も岡山産、旬のものの知識が少ない、どんどん日本の農作物のよさを伝えてほしい。
- ・朝取りのお茶、そば湯、トマトかぶりつき、本当にいい体験させていただきました。必ず、職場に帰って、食育につながるようにしたい。
- ・TPP、跡継ぎ、農地集積、攻めの農業、GM等の考えなど、意見交換会は色々な立場の方の話が聞け、有難うございました。
- ・昔からの当たり前がなくなっている
- ・地場産の野菜や食材の活用が十分できるような流通のシステムがあれば、生産してくださる方の苦労も報われる。
- ・正しいことを教えろ、頑張れ、一方的にやってほしいではなく一緒に頑張りましょう、となれば食育が行いやすくなるのではと感じた。
- ・後ろの方に座っていましたが、時々良く聞こえないときがあり、マイクを用意していただきたい。
- ・そば打ちをもう少し衛生的に。